

こんにちは、
日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (FAX 兼用) 691-3323
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130 '16年11月27日号
 市会議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp

政府各省との折衝に取組み、大きな成果

党市会議員団の諸活動の一環として

16日、党市会議員団として東京へ行き、政府との折衝に取り組みました。直接、要求の實現を求めるといふよりも（これは、こくた恵二衆院議員など国会議員団が頑張っている）、制度の解釈などについて聞き取り（折衝という形です（写真左）。国の考えを、京都市でも生かそうとの趣旨です。主な項目



◎ 来年度から、介護保険の「要支援1・2」の人たちへの、ヘルパー派遣とデイサービス通所が、時間が減らされたり「素人ヘルパー」に代わったり等、後退させられます。しかし本人が、「現行相当のサービス」を希望する場合、「不服申立てができる」との、この日の厚労省の回答でした。また、国が従来通りの費用負担を減らしても、「その分を京都市が補

填してもよい」との回答も得ました。

◎ 「民泊」については、市では、井上けんじ議員が「従業員が居なければならぬ」との回答を得ていますが、10人は、今春から「10人

民間の事業者の皆さんが、政府の制度改悪に負けず、現場から「現行相当」を貫かれることが期待されます。また京都市に「補填」させる運動が必要との課題も明らかになりました。

◎ 市と「京セラ」とで、市美術館に同社の名前を付ける命名権契約が、議会の関与抜きに市長の判断だけで結ばれた（50年・50億円）ことが問題になっています（市議団は議会決議



公共事業の現場を訪問・調査

14日、労働組合の京建労さんなどと一緒、公共工事の現場を訪問。元請け企業や下請け労働者から、話をお聞きし、入札のあり方や労働者の賃金労働条件などについて調査しました。市議団から、井上議員を含む3人が参加しました（南区にある牛肉豚肉の第二市場を訪問）。



社会保障を守ろうと、集会和パレード (11/20)



予算要求懇談会

11日、党市議団主催、市政報告と合わせ、予算要求懇談会を開きました。市議団として、近日、来年度予算編成にあたっての要求書を、市長宛て、提出の予定ですが、その要求書に、市民団体の皆さんの要望を採り入れ、反映させようと、開いたものです。

『乗るたび負担』でどうなる?!

敬老乗車証「家計簿」調査結果の報告集会

日時：12月3日(土)午後1時30分～
 場所：ラポール京都 第1会議室(四条御前)

- 主なプログラム
- ・敬老乗車証(家計簿)調査結果の報告
 - ・市議団の調査報告
 - ・敬老乗車証の取組状況について
 - ・参加者の意見

は不要との立場。この折衝で、総務省は「新に、議会で決めるべき事項として議会で決めること。つまり、市長がどう言い張ろうと、議会が自律的に「命」と決めればいいから」と決めたい。他党派の姿勢次第といふことになり。